

バージョン2.5 または2.6 を使用しているCisco ICS 7750 の802.1q VLAN の設定方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[表記法](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[802.1q トランクのための Catalyst 3500 PWR XL を設定して下さい](#)

[3500 PWR XL でのVTP 設定](#)

[3500 PWR XLのIPデフォルト ゲートウェイの設定](#)

[802.1q トランキングのためのICS 7750 SSP の設定](#)

[ICS 7750 SSP でのVTP 設定](#)

[ICS 7750 MRP 上の802.1q VLAN の設定](#)

[ICS 7750 MRP のデフォルトIP ルーティングの設定](#)

[SM SPE のICSConfig を使用したシャーシ内のカードのデフォルト ゲートウェイの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、少なくとも1つのマルチサービス ルート プロセッサ (MRP) 300 を使用してソフトウェア バージョン 2.5 または 2.6 を実行する Cisco ICS 7750 を設定し、802.1q VLAN を使用するローカル ネットワークに接続できるようにする方法について説明します。Cisco ICS のソフトウェア バージョン 2.5 および 2.6 には、VLAN の機能に制限があります。シャーシ内のカードすべてが、タグなしフレームを使用するネイティブ VLAN (通常は VLAN1) 上にある必要があります。MRP には、VLAN 間トラフィックを許可するために、ネットワーク内の他の 802.1q VLAN に定義された追加のサブインターフェイスを設定できます。

前提条件

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

要件

この設定を実施するには、次の前提条件を満たしている必要があります。

- Cisco ICS 7750 ICSConfig ユーティリティはエラーなしで動作できます。
- Cisco ICS 管理ツールはシャーシのカードすべてを認識します。
- Cisco ICS 7750 の System Switch Processor (SSP) に接続されるトランク ポートとの 802.1q VLAN と設定される外部 スイッチがあります。
- System Processing Engine (SPE) カードはネイティブ VLAN である必要があります。
- SSP はネイティブ VLAN のマネージメントVLAN がなければなりません。
- MRP ファーストイーサネットインターフェイス 0/0 はネイティブ VLAN インターフェイスである必要があります。

ネイティブ VLAN は一般的に VLAN 1 で、帯のために 802.1q タギングを使用しません。

タグが付いていない 802.1q フレームを送信 するように 7750 シャーシのすべてのカードがネイティブ VLAN (一般的に 1) VLAN への接続のために設定されることを Cisco ICS 7750 ソフトウェアバージョン 2.5 および 2.6 は必要とします。MRP および SSP はローカルネットワークに ICS 7750 を接続するのにタグ付けされた 802.1q 帯を要求に応じて使用する他の VLAN への追加接続がある場合があります。

この資料は既にこれらのトピックについて詳しく知っていると仮定します:

- Catalyst スイッチおよび Cisco IOS[®] の 802.1q VLAN を使用することはルータを基づかせていました。802.1q トランキング概念および実装を検討することを望んだ場合[バーチャル LAN/VLAN トランキング プロトコル \(VLAN/VTP \) サポートページ](#)で利用可能な複数の文書があります。
- マネージメントVLAN。詳細については、[Catalyst 4500/4000 の管理IPアドレスの、5500/5000 設定を、6500/6000、および Catalyst 固定構成スイッチ参照して下さい。](#)
- VLAN Trunking Protocol (VTP) の使用。詳細については、[『VLAN トランク プロトコル \(VTP \) とその設定について』を参照してください。](#)を参照して下さい

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

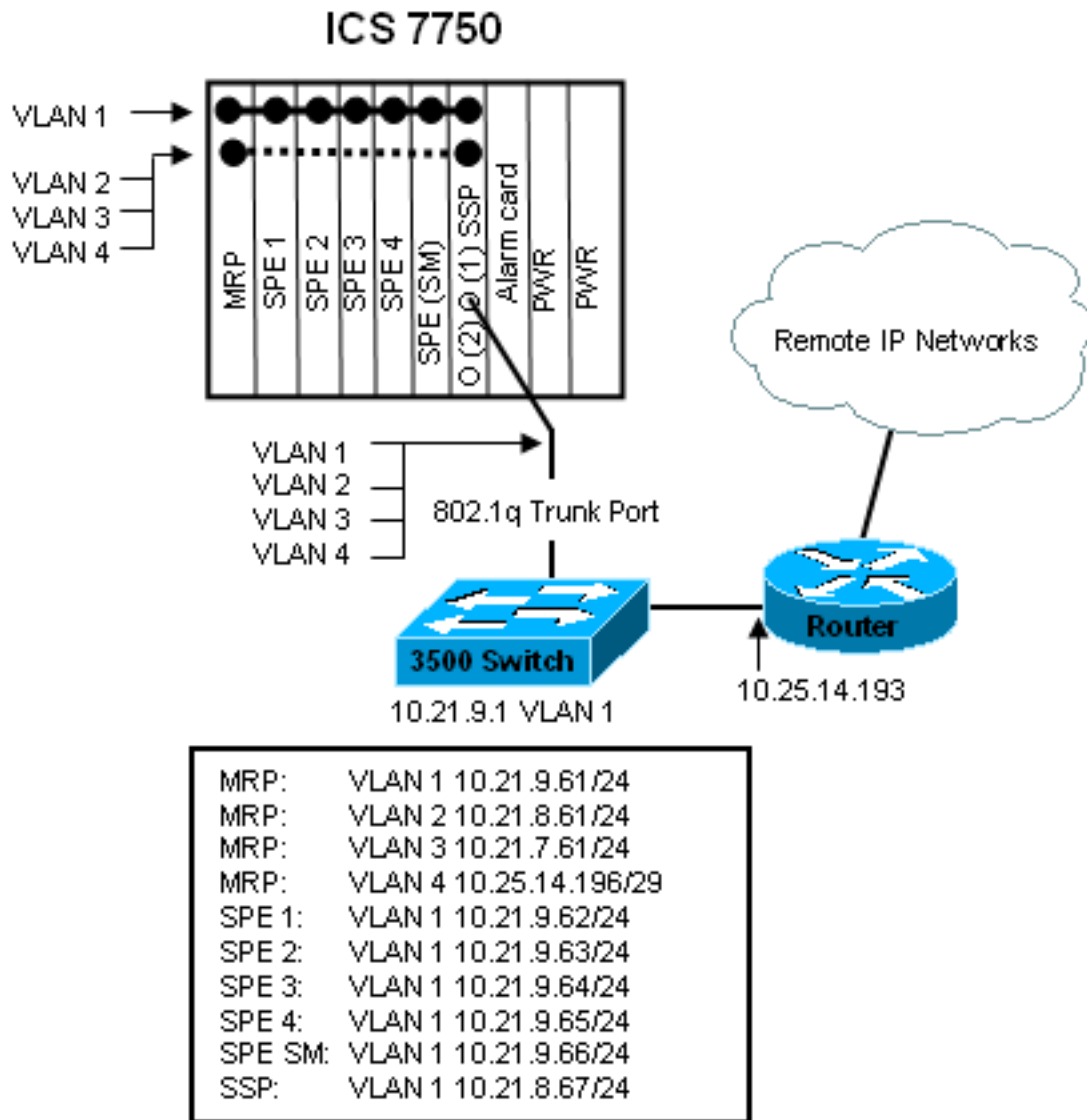
- Cisco ICS ソフトウェア バージョン 2.5 および 2.6 と確認される
- SAP および SSP の Cisco ICS 7750
- 1 つの x MRP 300
- 5 x SPE

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定

ネットワーク図

このドキュメントでは次の図に示すネットワーク



このダイアグラムでは、MRP カードすべてが VLAN 1.にさらに接続されることがわかり、SSP はまた VLAN 2 ~ 4.に接続されます。これはこの資料のタスクを完了したらどのようにネットワーク外観です。

[802.1q トランクのための Catalyst 3500 PWR XL を設定して下さい](#)

この設定では、Catalyst スイッチはポート 0/1 の SSP ポートに接続されます。これをセットするためにここに示されているコマンドを使用して下さい。

3500 PWR XL 802.1q トランク 設定

```
3500XL>enable 3500XL#configure terminal Enter
configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
3500XL(config)#interface FastEthernet0/1 3500XL(config-
if)#switchport trunk encapsulation dot1q 3500XL(config-
if)#switchport mode trunk 3500XL(config-if)#switchport
trunk allowed vlan all 3500XL(config-if)#exit
3500XL(config)#exit 3500XL#copy running-config startup-
config Destination filename [startup-config]? Building
configuration... [OK] 3500XL#
```

[設定の確認](#)

このセクションでは、設定が正常に動作しているかどうかを確認する際に役立つ情報を示しています。

特定の **show** コマンドは、[Output Interpreter Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) によってサポートされています。このツールを使用すると、**show** コマンド出力の分析を表示できます。

あなたの下の出力で見ることがあります:

- スイッチポートは有効になります。
- 管理モード および 動作モードはトランキングする両方ともセットです。
- 幹線エンキャプシュレーションは 802.1q に設定 されます。
- 操作上幹線エンキャプシュレーションは dot1q に設定 されます。
- ネイティブ VLAN は VLAN 1.です。
- アクティブVLAN は 1 ~ 4.です。

このコマンド 出力は **show interface** ファーストイーサネットから 0/1 の **switchport** コマンドです。

```
cat2924#show interface fastEthernet 0/1 switchport Name: Fa2/1 Switchport: Enabled
Administrative mode: trunk Operational Mode: trunk Administrative Trunking Encapsulation: dot1q
Operational Trunking Encapsulation: dot1q Negotiation of Trunking: Disabled Access Mode VLAN: 0
((Inactive)) Trunking Native Mode VLAN: 1 (default) Trunking VLANs Enabled: ALL Trunking VLANs
Active: 1-4 Pruning VLANs Enabled: 2-1001 cat2924# Priority for untagged frames: 0 Override vlan
tag priority: FALSE Voice VLAN: none Appliance trust: none 3500XL#
```

[設定のトラブルシューティング](#)

設定のこの一部をトラブルシューティングするステップがありません。

[3500 PWR XL でのVTP 設定](#)

3500 PWR XL はこのネットワークのサーバです。VTP 設定を設定するためにここに示されているコマンドを使用して下さい。

3500 PWR XL VTP
3500XL# vlan database 3500XL(vlan)# vtp server Device mode already VTP SERVER. 3500XL(vlan)# vtp domain tacweb Changing VTP domain name from tt to tacweb 3500XL(vlan)# vtp password 1P6c3J9z Setting device VLAN database password to 1P6c3J9z 3500XL(vlan)# exit APPLY completed. Exiting.... 3500XL#

[設定の確認](#)

このセクションは正常に動作している設定を確認するのに使用できる情報を提供します。

特定の **show** コマンドは、[Output Interpreter Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) によってサポートされています。このツールを使用すると、**show** コマンド出力の分析を表示できます。

あなたの下の出力で見ることがあります:

- 8 つの既知 VLAN があります。
- VTP モードはサーバです。
- VTP ドメインは *tacweb* です。

これは **show vtp status** コマンドのサンプルコマンド出力です。

```
3500XL#show vtp status VTP Version : 2 Configuration Revision : 2 Maximum VLANs supported
locally : 254 Number of existing VLANs : 8 VTP Operating Mode : Server VTP Domain Name : tacweb
VTP Pruning Mode : Disabled VTP V2 Mode : Disabled VTP Traps Generation : Disabled MD5 digest :
0x25 0x8F 0xFF 0x30 0xEF 0xB1 0xA2 0x57 Configuration last modified by 10.21.9.1 at 4-9-93
18:53:07 3500XL#
```

設定のトラブルシューティング

設定のこの一部をトラブルシューティングするために提供されるステップがありません。

3500 PWR XLのIPデフォルトゲートウェイの設定

3500 PWR XL はこのネットワークのサーバです。Ip default gateway を設定するためにここに示されているコマンドを使用して下さい。

3500 PWR XL Ip default gateway

```
3500XL>en Password:3500XL#configure terminal Enter
configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
3500XL(config)#ip default-gateway 10.21.9.61
3500XL(config)#exit 3500XL#copy running-config startup-
config Destination filename [startup-config]? Building
configuration... [OK] 3500XL#
```

設定の確認

提供されるステップが toverify 設定のこの一部をありません。

設定のトラブルシューティング

設定のこの一部をトラブルシューティングするために提供されるステップがありません。

802.1q トランキングのためのICS 7750 SSP の設定

このタスクは 802.1q トランク ポートとして ICS 7750 SSP の 2 つのポートを確立します。設定するポートは外部 Catalyst スイッチに SSP および内部 MRP イーサネットインターフェイスに SSP を接続する物です。MRP は ICS 7750 シャーシの slot1 にあります。Slot1 は SSP のポート 0/3 です。これをセットするためにここに示されているコマンドを使用して下さい。

ICS 7750 SSP 802.1q トランク 設定

```
SSP>enable SSP#configure terminal Enter configuration
commands, one per line. End with CNTL/Z.
SSP(config)#interface FastEthernet0/1 SSP(config-
if)#switchport trunk encapsulation dot1q SSP(config-
if)#switchport mode trunk SSP(config-if)#switchport
trunk allowed vlan all SSP(config-if)#interface
FastEthernet0/3 SSP(config-if)# switchport trunk
encapsulation dot1q SSP(config-if)# switchport mode
trunk SSP(config-if)#switchport trunk allowed vlan all
SSP(config-if)#exit SSP(config)#exit SSP#copy running-
config startup-config Destination filename [startup-
config]? Building configuration... [OK] SSP#
```

注: この設定の MRP は ICS 7750 シャーシの先頭に直面するので左端のポートです。カードポート番号は 3 ー左から右へ 8 です。 とういうわけでこの設定で使用されるインターフェイスは FastEthernet 0/1 および 0/3 です。

設定の確認

このセクションは正常に動作している設定を確認するのに使用できる情報を提供します。

特定の **show** コマンドは、[Output Interpreter Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) によってサポートされています。このツールを使用すると、**show** コマンド出力の分析を表示できます。

ここのこの出力で見ることができます:

- スイッチポートは 。
- 管理モード および 動作モードは両方ともセットです。
- 幹線エンキャプシュレーションは 802.1q に設定 されます。
- 操作上幹線エンキャプシュレーションは dot1q に設定 されます。
- ネイティブ VLAN は `VLAN` です: 1 の L-AC-PLS-G) を注文します。
- アクティブVLAN は 1-4 です。

これは **show interface** ファーストイーサネット `mod_num/port_num switchport` コマンドのサンプルコマンド出力です。

```
SSP#show interface fastEthernet 0/1 switchport Name: Fa0/1 Switchport: Enabled Administrative mode: trunk Operational Mode: trunk Administrative Trunking Encapsulation: dot1q Operational Trunking Encapsulation: dot1q Negotiation of Trunking: Disabled Access Mode VLAN: 0 ((Inactive)) Trunking Native Mode VLAN: 1 (default) Trunking VLANs Enabled: ALL Trunking VLANs Active: 1-4 Pruning VLANs Enabled: 2-1001 SSP# Priority for untagged frames: 0 Override vlan tag priority: FALSE Voice VLAN: none Appliance trust: none SSP#
```

これは **show interface** ファーストイーサネット `mod_num/port_num switchport` コマンドのもう一つの例です。

```
SSP#show interface fastEthernet 0/3 switchport Name: Fa0/3 Switchport: Enabled Administrative mode: trunk Operational Mode: trunk Administrative Trunking Encapsulation: dot1q Operational Trunking Encapsulation: dot1q Negotiation of Trunking: Disabled Access Mode VLAN: 0 ((Inactive)) Trunking Native Mode VLAN: 1 (default) Trunking VLANs Enabled: ALL Trunking VLANs Active: 1-4 Pruning VLANs Enabled: 2-1001 Priority for untagged frames: 0 Override vlan tag priority: FALSE Voice VLAN: none Appliance trust: none SSP#
```

設定のトラブルシューティング

設定の troubleshootthis 部品に提供されるステップがありません。

ICS 7750 SSP でのVTP 設定

SSP はこのネットワークの VTP クライアントです。これをセットするためにここに示されているコマンドを使用して下さい。

注意: SSP は 256 VLAN しかサポートなできません。ネットワークが SSP が VTP アドバタイズメントで見る VLAN の数を減らすことを VLAN プルーニングが可能にする必要がある持っているならば 256 VLAN 以上。詳細については、[『VLAN トランク プロトコル \(VTP\) とその設定について』](#) を参照してください。を参照して下さい

```
SSP>enable SSP#vlan database SSP(vlan)#vtp client
Setting device to VTP CLIENT mode. SSP(vlan)#vtp domain
tacweb Changing VTP domain name from hhgttg to tacweb
SSP(vlan)#vtp password 1P6c3J9z Setting device VLAN
database password to 1P6c3J9z SSP(vlan)#exit !--- This
message appears. Although the message is normal, it is
not !--- completely accurate. It is possible to change
some VTP parameters on a VTP Client. !--- In this case
the VTP domain name and password were changed. If this
switch !--- never had a domain name configured, it would
have learned it from its upstream VTP !--- partner.
There is no harm in entering the domain name manually.
In CLIENT state, no apply attempted.Exiting.... SSP#
```

設定の確認

このセクションは正常に動作している設定を確認するのに使用できる情報を提供します。

Certainshow コマンドは show コマンド出力の分析を表示することを可能にする [Output Interpreter ツール](#) ([登録ユーザのみ](#)) によってサポートされます。

ここの出力で見ることができます:

- 8 つの既知 VLAN があります。
- VTP モードはです。
- VTP ドメインは tacweb です。

これは show vtp status コマンドのサンプルコマンド出力です。

```
SSP#show vtp status VTP Version : 2 Configuration Revision : 2 Maximum VLANs supported locally :
254 Number of existing VLANs : 8 VTP Operating Mode : Client VTP Domain Name : tacweb VTP
Pruning Mode : Disabled VTP V2 Mode : Disabled VTP Traps Generation : Enabled MD5 digest : 0x25
0x8F 0xFF 0x30 0xEF 0xB1 0xA2 0x57 Configuration last modified by 10.21.9.1 at 4-9-93 18:53:07
SSP#
```

ここの出力で見ることができます:

- ポート 2、4、5、6、7、および 8 は VLAN 1 にあります (ポート 1 および 3 はトランク ポートです)。
- すべての VLAN はです。

注: VLAN 1002、1003、1004、および 1005 はデフォルトVLAN です。 とういうわけで show vtp status コマンドは 8 VLAN を示します: VLAN 1 (デフォルト);。 VLAN は追加したおよび 4 asdefault VLAN に残ります 2-4。

これは show vlan brief コマンドのサンプルコマンド出力です。

```
SSP#show vlan brief VLAN Name Status Ports -----
----- 1 default active Fa0/2, Fa0/4, Fa0/5, Fa0/6, Fa0/7, Fa0/8 2 vlan2
active 3 vlan3 active 4 vlan4 active 1002 fddi-default active 1003 token-ring-default active
1004 fddinet-default active 1005 trnet-default active SSP#
```

この出力では、SSP が VLAN 2 ~ 4.について確認することがわかります。

VTP が正常に動作していることを確認する追加メソッドがあります。 1 方式は VTP サーバの VLAN の名前を変更し、VLAN 名義変更が VTP クライアントに伝搬することを確認することです。 VTP コンフィギュレーションリビジョン番号はまた 1 つ増加する必要があります。

[設定のトラブルシューティング](#)

設定のこの一部をトラブルシューティングするために提供されるステップがありません。

[ICS 7750 MRP 上の802.1q VLAN の設定](#)

MRP はこのネットワークのための VLAN 間 ルータです。これをセットするためにここに示されているコマンドを使用して下さい。

ICS 7750 MRP 802.1q

```
MRP>enable Password: MRP#configure terminal Enter
configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
MRP(config)#interface FastEthernet0/0 MRP(config-if)#ip
address 10.21.9.61 255.255.255.0 !--- Interface 0/0 is
the Native VLAN interface that uses untagged frames. !---
- Do not configure 802.1q encapsulation on it.
MRP(config-if)#interface FastEthernet0/0.1 MRP(config-
if)#encapsulation dot1Q 2 MRP(config-if)#ip address
10.21.8.61 255.255.255.0 MRP(config-if)#no cdp enable
MRP(config-if)#interface FastEthernet0/0.2 MRP(config-
if)#encapsulation dot1Q 3 MRP(config-if)#ip address
10.21.7.61 255.255.255.0 MRP(config-if)#no cdp enable
MRP(config-if)#interface FastEthernet0/0.3 MRP(config-
if)#encapsulation dot1Q 4 MRP(config-if)#ip address
10.25.14.196 255.255.255.248 MRP(config-if)#no cdp
enable MRP(config-if)#exit MRP(config)#exit MRP#
```

[設定の確認](#)

このセクションは正常に動作している設定を確認するのに使用できる情報を提供します。

特定の show コマンドは、[Output Interpreter Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) によってサポートされています。このツールを使用すると、show コマンド出力の分析を表示できます。

これは show vlans コマンドのサンプルコマンド出力です。

```
MRP#show vlans Virtual LAN ID: 1 (IEEE 802.1Q Encapsulation) vLAN Trunk Interface:
FastEthernet0/0 This is configured as Native VLAN for the following interface(s) :
FastEthernet0/0 Protocols Configured: Address: Received: Transmitted: IP 10.21.9.61 3664824
3660021 Virtual LAN ID: 2 (IEEE 802.1Q Encapsulation) vLAN Trunk Interface: FastEthernet0/0.1
Protocols Configured: Address: Received: Transmitted: IP 10.21.8.61 3020581 3116540 Virtual LAN
ID: 3 (IEEE 802.1Q Encapsulation) vLAN Trunk Interface: FastEthernet0/0.2 Protocols Configured:
Address: Received: Transmitted: IP 10.21.7.61 100073 82743 Virtual LAN ID: 4 (IEEE 802.1Q
Encapsulation) vLAN Trunk Interface: FastEthernet0/0.3 Protocols Configured: Address: Received:
Transmitted: IP 10.25.14.196 157686 34398 MRP#
```

[設定のトラブルシューティング](#)

設定のこの一部をトラブルシューティングするために提供されるステップがありません。

[ICS 7750 MRP のデフォルトIP ルーティングの設定](#)

ローカルネットワークのエンドシステムが使用できるリモートIP ネットワークのための実行可能なデフォルト ゲートウェイとして MRP を設定するために IP ルーティング パラメータを設定して下さい。

IP ルーティング、デフォルト ゲートウェイおよびラスト リゾート ゲートウェイの完全な説明はこの資料の範囲を超えています。この資料で示されるオプションは十分な IP ルーティング 接続を確認する可能な 解決策の 1 つだけです。このサブジェクトに関する詳細については、[IP コマンドを使用したラスト リゾート ゲートウェイの設定](#)を参照して下さい。

このネットワーク設計では、ローカルネットワークのエンドシステムは VLAN のためにデフォルト ゲートウェイとしてに接続されること MRP の IP アドレスを使用します。たとえば、VLAN 3 のデバイスにデフォルト ゲートウェイで設定された 10.21.7.61 があります。IP トラフィックがリモート IP ネットワークに向かう場合、MRP は VLAN 4.上の[ネットワークダイアグラム](#)の他のルータにトラフィックを転送します。

これをセットするためにここに示されているコマンドを使用して下さい。

ICS 7750 MRP デフォルトネットワーク; ラスト リゾート ゲートウェイ

```
MRP>enable Password: MRP#configure terminal Enter
configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
MRP(config)# MRP(config)#ip classless MRP(config)#ip
default-network 0.0.0.0 MRP(config)#ip route 0.0.0.0
0.0.0.0 10.25.14.193 MRP(config-if)#exit
MRP(config)#exit MRP#
```

設定の確認

このセクションは正常に動作している設定を確認するのに使用できる情報を提供します。

特定の show コマンドは、[Output Interpreter Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) によってサポートされています。このツールを使用すると、show コマンド出力の分析を表示できます。

これは show ip route コマンドのサンプルコマンド出力です。

```
MRP#show ip route Codes: C - connected, S - static, I - IGRP, R - RIP, M - mobile, B - BGP D -
EIGRP, EX - EIGRP external, O - OSPF, IA - OSPF inter area N1 - OSPF NSSA external type 1, N2 -
OSPF NSSA external type 2 E1 - OSPF external type 1, E2 - OSPF external type 2, E - EGP i - IS-
IS, L1 - IS-IS level-1, L2 - IS-IS level-2, ia - IS-IS inter area * - candidate default, U -
per-user static route, o - ODR P - periodic downloaded static route Gateway of last resort is
10.25.14.193 to network 0.0.0.0 10.0.0.0/8 is variably subnetted, 4 subnets, 2 masks C
10.21.9.0/24 is directly connected, FastEthernet0/0 C 10.21.8.0/24 is directly connected,
FastEthernet0/0.1 C 10.21.7.0/24 is directly connected, FastEthernet0/0.3 C 10.25.14.192/29 is
directly connected, FastEthernet0/0.2 S* 0.0.0.0/0 [1/0] via 10.25.14.193 MRP#
```

あなたの上の出力でラスト リゾート ゲートウェイがネットワーク 0.0.0.0 へ 10.25.14.193 であること、そして MRP に IP アドレス 10.25.14.193 を通して 0.0.0.0 にルートがあることがわかる場合があります。これは[ネットワークダイアグラム](#)の他のルータの IP アドレスです。

これは ping ip_address コマンドのサンプルコマンド出力です。

```
3500XL#ping 10.21.9.61 Type escape sequence to abort. Sending 5, 100-byte ICMP Echos to
10.21.9.61, timeout is 2 seconds: !!!!! Success rate is 100 percent (5/5), round-trip
min/avg/max = 1/2/5 ms 3500XL#ping 10.21.8.61 Type escape sequence to abort. Sending 5, 100-byte
ICMP Echos to 10.21.8.61, timeout is 2 seconds: !!!!! Success rate is 100 percent (5/5), round-
trip min/avg/max = 1/2/5 ms 3500XL#ping 10.21.7.61 Type escape sequence to abort. Sending 5,
100-byte ICMP Echos to 10.21.7.61, timeout is 2 seconds: !!!!! Success rate is 100 percent
(5/5), round-trip min/avg/max = 5/5/6 ms 3500XL#ping 10.25.14.196 Type escape sequence to abort.
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 10.25.14.196, timeout is 2 seconds: !!!!! Success rate is 100
percent (5/5), round-trip min/avg/max = 1/3/5 ms 3500XL# 3500XL#ping 10.25.14.193 Type escape
sequence to abort. Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 10.25.14.196, timeout is 2 seconds: !!!!!
```

Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 1/3/5 ms 3500XL#

あなたの上の出力で 3500 スイッチが MRP の VLAN に割り当てられるサブネット アドレスのそれぞれを ping できることがわかる場合があります。10.21.9.61 はネイティブ VLAN (タグなしフレームを使用する 1) VLAN です。

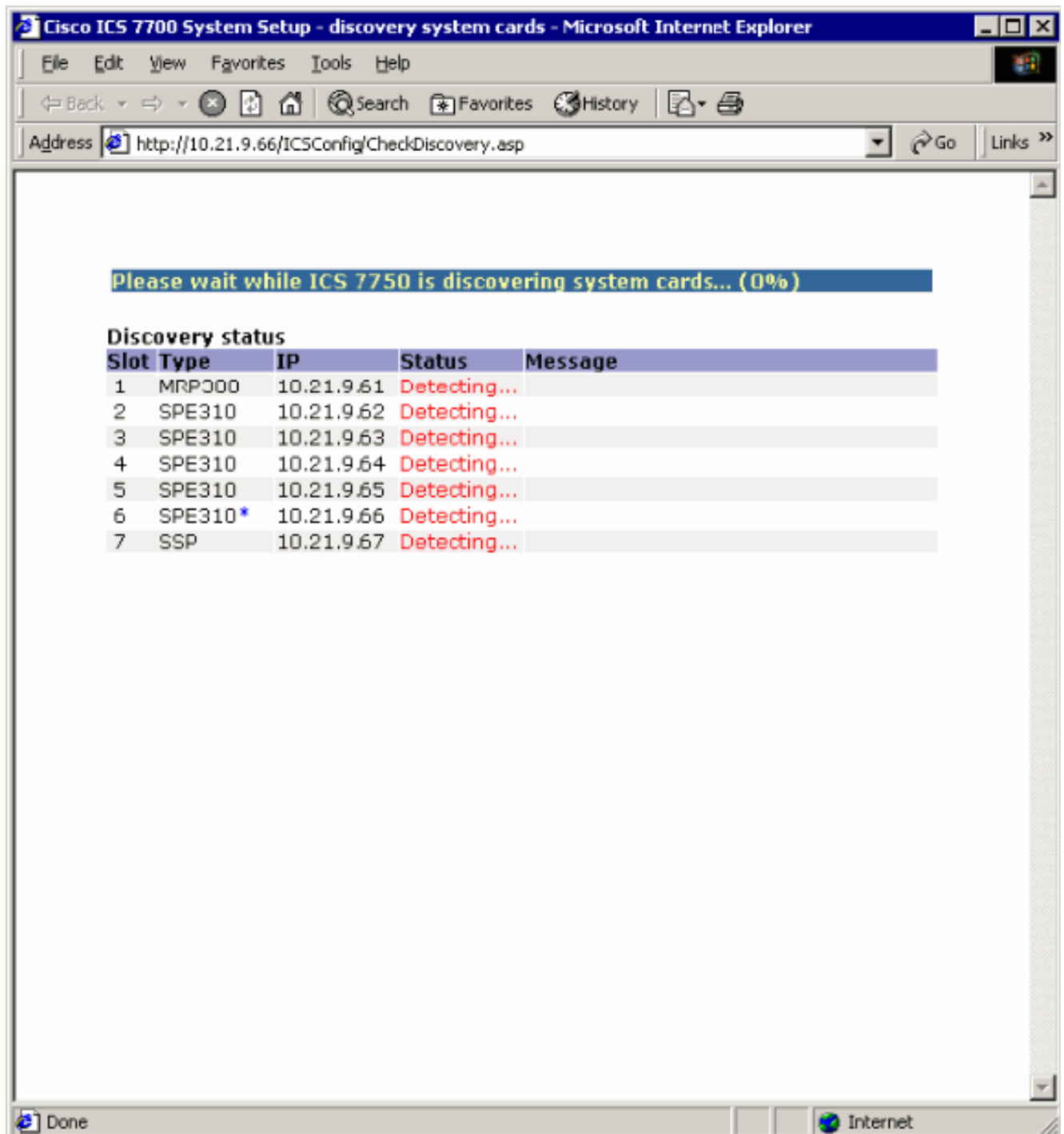
設定のトラブルシューティング

設定のこの一部をトラブルシューティングするために提供されるステップがありません。

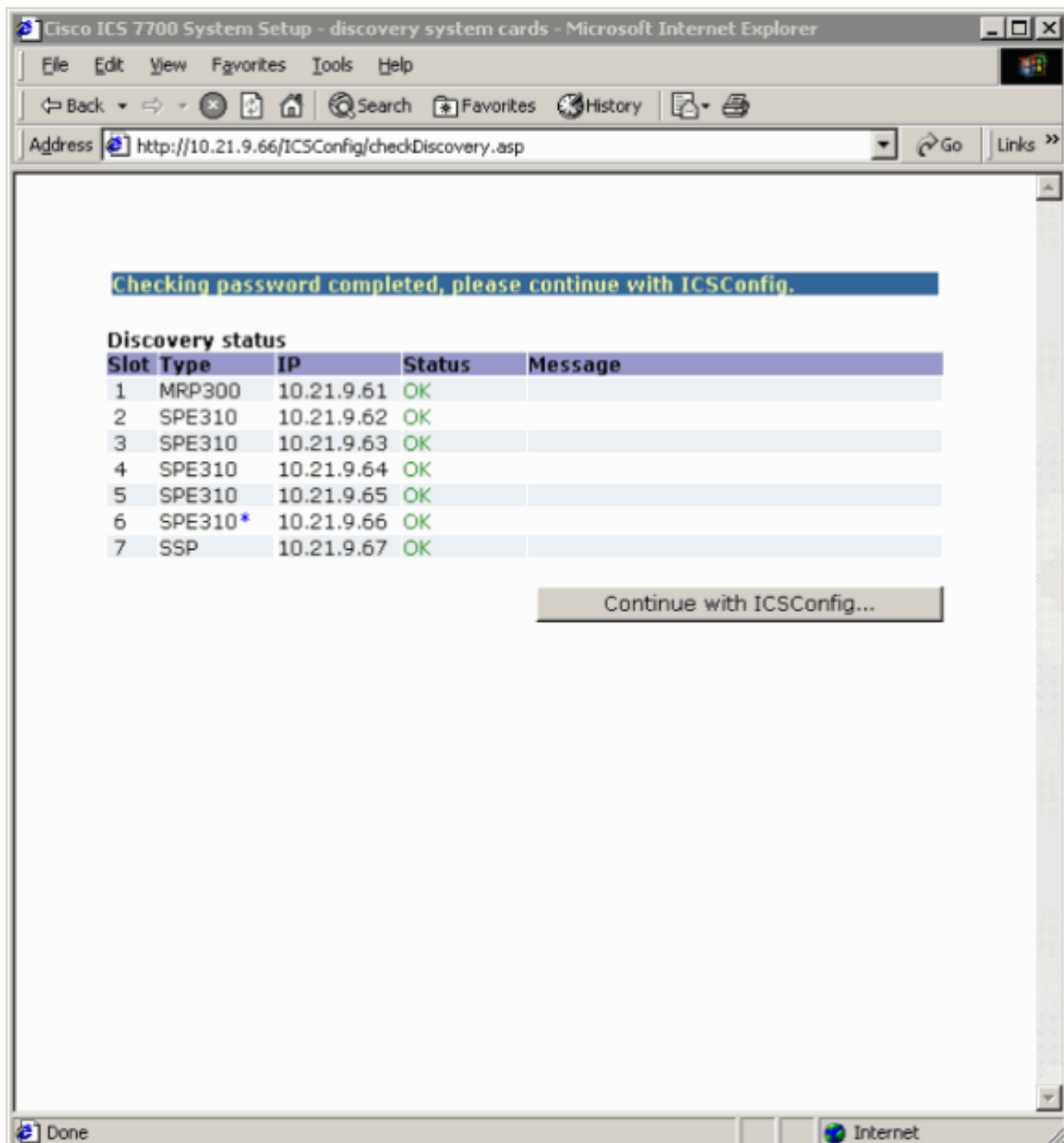
SM SPE の ICSCConfig を使用したシャーシ内のカードのデフォルト ゲートウェイの設定

このタスクでは確認して下さい必要であれば、シャーシのカードのためのデフォルト ゲートウェイを変更して下さい。

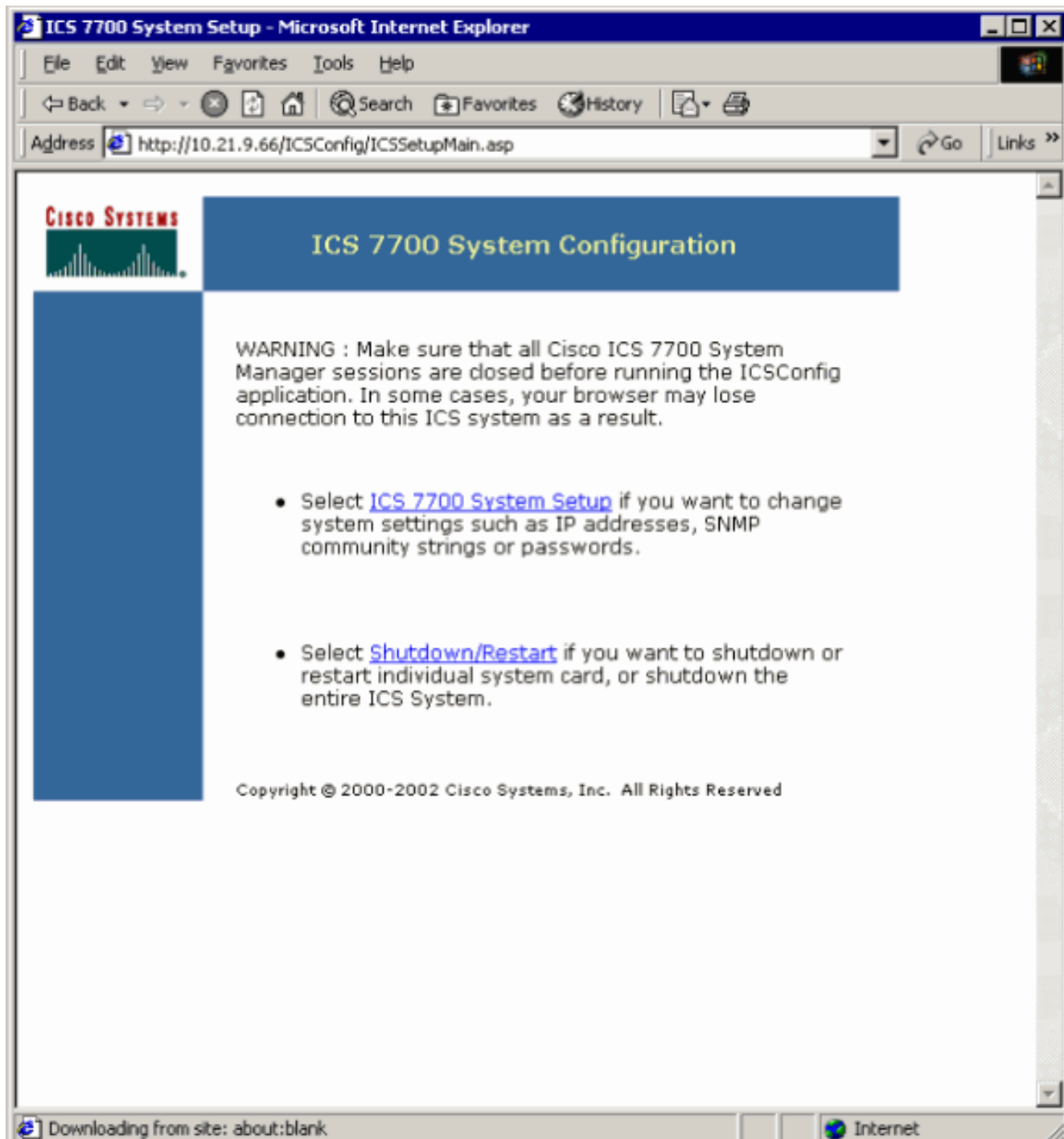
1. SM SPE への接続がある SM SPE か別のデバイスの **Internet Explorer** にアクセスして下さい。
2. **ICSCConfig** を開始し、URL **http://ip_address/icsconfig** を入力して下さい。CheckDiscovery プロセスは開始されます。



3. CheckDiscovery プロセス完了が『Continue with ICSCConfig』 をクリック するために、プロンプト表示される時。



4. ICS 7700 System Configuration メニューが現われるとき、『ICS 7700 System Setup』をクリックして下さい。



5. Summary 画面は現在の設定を現われ、示します。Network 設定 DNS およびゲートウェイと指名されるセクションにスクロールして下さい。この場合、デフォルトゲートウェイは既に正しく設定されています。このタスクの残りは必要とする場合この設定を変更する方法を示します。システムが既にきちんと設定されている場合、このタスクを完了する必要はありません。Open ウィンドウすべてを『Cancel』をクリックし、閉じて下さい。この設定を変更する必要があるらこのタスクと続けて下さい。ネットワーク設定 DNS およびゲートウェイリンクをクリックして下さい。

Cisco ICS 7700 System Manager Setup - Microsoft Internet Explorer

Summary
 If you are satisfied, click **Next** to continue; otherwise, click on a link to make additional changes.

CISCO SYSTEMS

Network Configuration-DNS and Gateway

Field Name	Old Value	New Value
Primary DNS IP:	10.21.9.66	10.21.9.66
Secondary DNS IP(optional):		
Default Gateway IP:	10.21.9.61	10.21.9.61

Security Setup for all IOS-based Cards

Field Name	Old Value	New Value
Login Password:	*****	*****
Enable Password:	*****	*****

SNMP Security Setup for all system cards

Field Name	Old Value	New Value
SNMP Read-only Community String:	public	public
SNMP Read-write Community String:	*****	*****

Security Setup for SPE Cards



Field Name	Old Value	New Value
SPE Administrator Password:	*****	*****

Next > Save As Cancel Help

6. デフォルト ゲートウェイを変更するメニューが現われるとき、正しい IP アドレスを入力し、『Continue』をクリックして下さい。

Cisco ICS 7700 System Manager Setup - Microsoft Internet Explorer

Network Configuration-DNS and Gateway
On this page you specify DNS and default gateway information.



Primary DNS IP:(optional)

Secondary DNS IP:(optional)


Default Gateway IP: ...

DNS is your Domain Name Server for domain name lookup.
Default Gateway IP is the IP address to connect the outside network.

7. Summary 画面が再度現われるとき、『Next』 をクリックして下さい。

Cisco ICS 7700 System Manager Setup - Microsoft Internet Explorer

Summary
 If you are satisfied, click **Next** to continue; otherwise, click on a link to make additional changes.



Network Configuration-DNS and Gateway

Field Name	Old Value	New Value
Primary DNS IP:	10.21.9.66	10.21.9.66
Secondary DNS IP(optional):		
Default Gateway IP:	10.21.9.61	10.21.9.61

Security Setup for all IOS-based Cards

Field Name	Old Value	New Value
Login Password:	*****	*****
Enable Password:	*****	*****

SNMP Security Setup for all system cards

Field Name	Old Value	New Value
SNMP Read-only Community String:	public	public
SNMP Read-write Community String:	*****	*****

Security Setup for SPE Cards

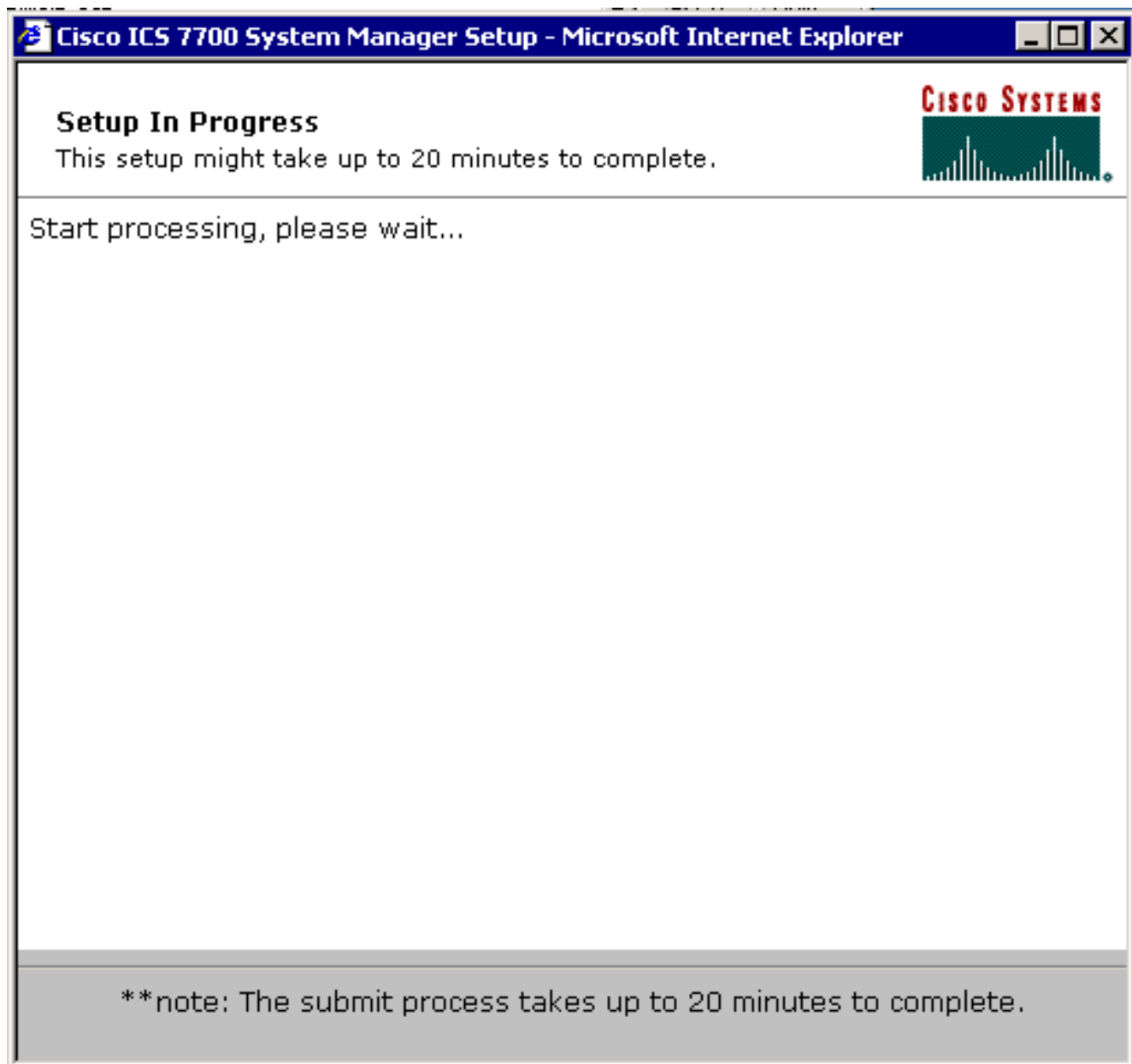
Field Name	Old Value	New Value
SPE Administrator Password:	*****	*****

Next > Save As Cancel Help

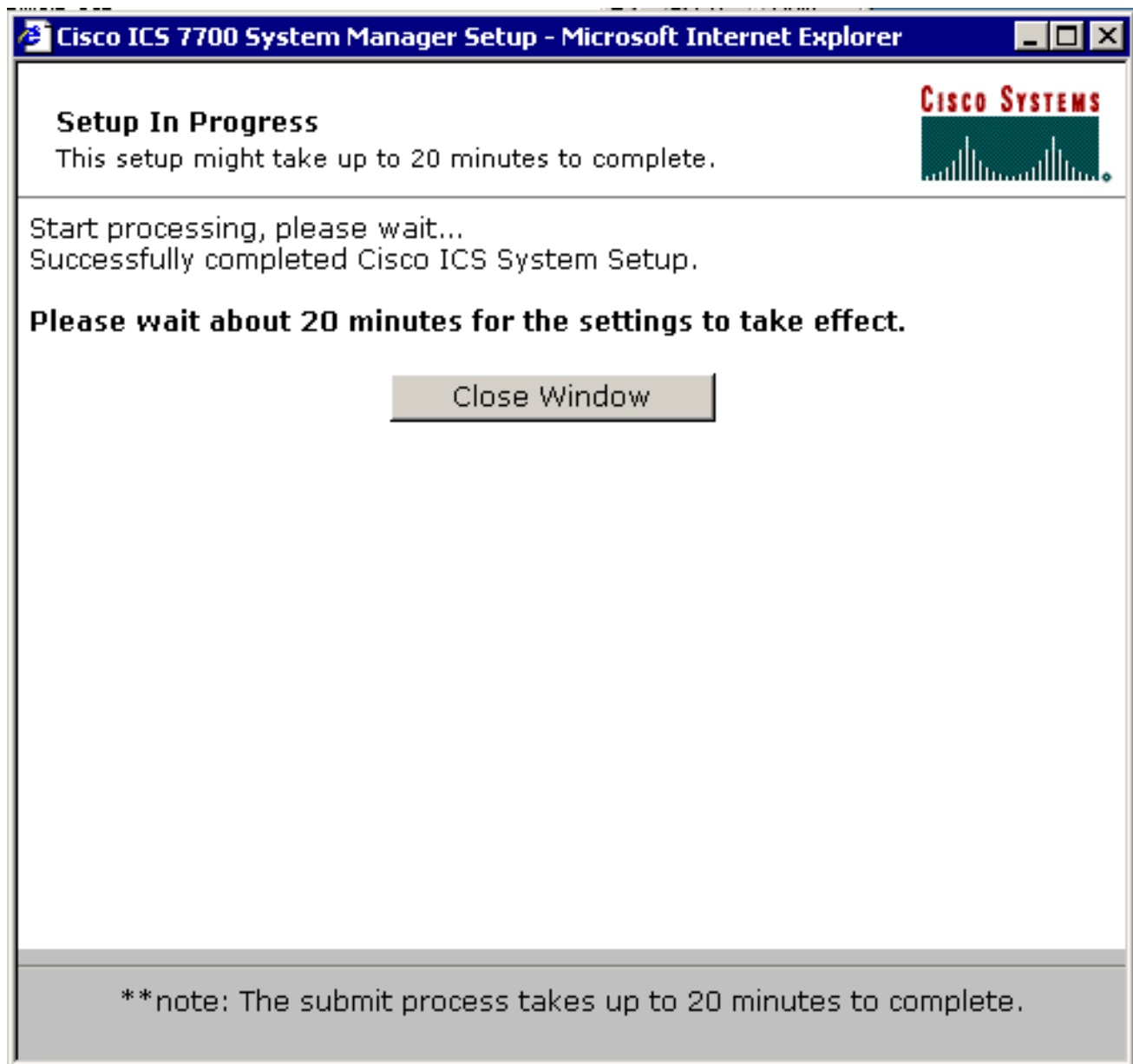
8. SUBMIT 画面への準備ができたの現われるとき、『SUBMIT』をクリックして下さい。



9. Setup In Progress 画面が完了するまで待って下さい。



10. プロンプト表示された場合、『Close Window』をクリックして下さい。



設定の確認

このタスクのための特定の検証手順がありません。下記の [Verify セクション](#) に進んで下さい。

設定のトラブルシューティング

このタスクのためのステップを解決する仕様がありません。下記の [Verify セクション](#) に進んで下さい。

確認

このセクションでは、設定が正常に動作しているかどうかを確認する際に役立つ情報を提供しています。

特定の **show** コマンドは、[Output Interpreter Tool](#) ([登録](#) ユーザ専用) によってサポートされています。このツールを使用すると、**show** コマンド出力の分析を表示できます。

他の VLAN のための MRP の IP アドレスを ping する SPE カードが DOS プロンプトからの ping

コマンドの助けによる VLAN 2 ~ 4 のエンド システムにアクセスできることを確認できます。

1. SPE の何れかのコンソールで Start > Run > cmd [enter] の順に選択して下さい。
2. MRP の IP アドレスを ping して下さい。注: SPE が VLAN 1 (10.21.9.0) サブネットにあるのでこの VLAN のための MRP のインターフェイスを ping する必要はありません。このステップは下記に含まれています SPE がこの設定のサブネットすべてにアクセスできることを示すために。
C:\>ping 10.21.9.61 Pinging 10.21.9.61 with 32 bytes of data: Reply from 10.21.9.61: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 10.21.9.61: bytes=32 time=10ms TTL=255 Reply from 10.21.9.61: bytes=32 time=10ms TTL=255 Reply from 10.21.9.61: bytes=32 time=10ms TTL=255 Ping statistics for 10.21.9.61: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 0ms, Maximum = 10ms, Average = 7ms C:\>ping 10.21.8.61 Pinging 10.21.8.61 with 32 bytes of data: Reply from 10.21.8.61: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 10.21.8.61: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 10.21.8.61: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 10.21.8.61: bytes=32 time<10ms TTL=255 Ping statistics for 10.21.8.61: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms C:\>ping 10.21.7.61 Pinging 10.21.7.61 with 32 bytes of data: Reply from 10.21.7.61: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 10.21.7.61: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 10.21.7.61: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 10.21.7.61: bytes=32 time<10ms TTL=255 Ping statistics for 10.21.7.61: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms C:\>ping 10.25.14.196 Pinging 10.25.14.196 with 32 bytes of data: Reply from 10.25.14.196: bytes=32 time=10ms TTL=255 Reply from 10.25.14.196: bytes=32 time=10ms TTL=255 Reply from 10.25.14.196: bytes=32 time=10ms TTL=255 Reply from 10.25.14.196: bytes=32 time=10ms TTL=255 Ping statistics for 10.25.14.196: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 10ms, Maximum = 10ms, Average = 10ms C:\>ping 10.25.14.193 Pinging 10.25.14.193 with 32 bytes of data: Reply from 10.25.14.193: bytes=32 time<10ms TTL=128 Reply from 10.25.14.193: bytes=32 time<10ms TTL=128 Reply from 10.25.14.193: bytes=32 time<10ms TTL=128 Reply from 10.25.14.193: bytes=32 time<10ms TTL=128 Ping statistics for 10.25.14.193: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms C:\>

トラブルシューティング

VLAN 間ルーティング問題のもっとも一般的な原因は設定 エラーです。

デフォルト ゲートウェイ設定を無効にしている SPE に静的な IP ルーティングがあることはまた可能性のあるです。現在のルーティング テーブルを確認する SPE の DOS プロンプトで c:\> netstat -m コマンドを使用して下さい。競合ルーティングを削除し、テストをもう一度試して下さい。入って来られるルーティングが競合すればどのように作成されたそれらをから防ぐために再度発生しますか判別して下さい。

関連情報

- [Cisco ICS 7750 のシステムソフトウェアリリース 2.5.0 に関するリリース ノート](#)
- [Cisco ICS 7750 のシステムソフトウェアリリース 2.6.0 に関するリリース ノート](#)
- [バーチャル LAN/VLAN トランッキング プロトコル \(VLAN/VTP \) サポートページ](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)